

平成27年度12月（第15回）光市教育委員会会議の要旨

1 開催日時

平成27年12月21日（月） 10時00分～11時30分

2 場 所

光市教育委員会2階会議室

3 出席委員

永岡委員長、河村委員、寺崎委員、中西委員、能美教育長

4 事務局

武居教育部長、石丸学校教育課長、弘実学校教育課主幹、森田文化・社会教育課長兼人權教育課長、村崎体育課長、末岡図書館長、呉橋学校給食センター所長、蔵下教育総務課長、縄田地域づくり推進課長、影土井経理係長

5 教育長報告

- (1) 山口県知事の浅江中学校訪問について
- (2) 平成27年度「やまぐち型地域連携教育」に係る優良地域協育ネット等の表彰について
- (3) 優秀教員の表彰について
- (4) 全国中学校駅伝大会の結果について

6 教育開発研究所教育実践部会の活動報告

7 議 事

(1) 議案及び報告

ア 議案第1号 光市社会教育委員兼光市公民館運営審議会委員の委嘱について

(ア) 概 要

光市社会教育委員兼光市公民館運営審議会委員の辞職に伴い、後任の委員を委嘱するため、本案を提出。

(イ) 内 容

関係団体の役員の交代に伴い、後任の委員について委嘱するため。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

イ 報告第1号 平成27年度第4回光市議会定例会一般質問要旨について

(ア) 概 要

平成27年度第4回光市議会定例会一般質問要旨について、教育長より報告。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意見

「学校改革で、光市の進んだ面は、遅れた面は」という質問において、遅れた面はないというお考えか。

② 回答

そのように考えている。ただし、「一人ひとりに生きる力を身につける」という視点から言えば、まだ十分ではない子どもや時間のかかる子どもがいることも事実であるが、全体的には、遅れている、劣っているといったことはないと認識している。

① 意見

「コミュニティ・スクールに関する意識調査」においては、「保護者の方や地域の方が学校の環境整備に関わっていると思う」のパーセンテージが高く、とても良いことと思う。そうした中、地域ごとの結果に差はあるか。それとも、平均してこのくらいか。

② 回答

小・中学校とも、それぞれに特色があり、地域によって多少差がある。今後は「光市コミュニティ・スクール研究協議会」等を通じて、情報の共有を図りながら、取組みの充実に努めていきたい。

① 意見

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」の策定というのは、教育開発研究所で、今、行っていることか。

② 回答

手引きについては、平成27年1月に文部科学省が策定したものであり、現在、教育開発研究所内のプロジェクトとして進めている「光市立学校の将来の在り方検討プロジェクト」において参酌することとしている。12月11日に第1回目の会議を開催したところである。

① 意見

「チーム学校」という表現は初めて聞いたが、そうした言葉があるのか。また、今後定着しそうな言葉なのか。

② 回答

文部科学省の中央教育審議会初等中等教育分科会の「チームとしての学校・教職員の在り方に関する作業部会」において、チームとしての学校の在り方、今後の改善方策について、素案が取りまとめられたところである。教員だけで学校運営をマネジメントするのではなく、様々な専門性を持った人とともに、学校の機能を高めていくという考え方が示されている。こうした「チーム学校」が実現されると、教員の負担もかなり減ってくるものと思う。

また、この「チーム学校」という言葉は、様々なところで使用しているが、今後、より具体的なものになると考えている。

ウ 報告第2号 平成28年度光市立小・中学校教職員人事異動内申方針について

(ア) 概要

平成28年度光市立小・中学校教職員人事異動内申方針について教育長より説明。

(イ) 内容

概要のとおり。

エ 報告第3号 区域外就学の承認について

(ア) 概要

区域外就学の承認について、事務局より報告。

(イ) 内容

区域外就学の協議及び申請のあった6名について承認した。